

将来につながる効果的な物流施策の周知を目的とし、**中小企業や商店街**の事業者を対象に物流効率化に向けた意欲的・先進的な取組を「未来につながる物流」として認定・表彰する。

## 応募条件

(1) 2020TDM推進プロジェクトへの登録

(2) 下記のいずれかに該当するもの

- ア 中小企業者(会社及び個人事業者)
- イ 一般財団法人、一般社団法人、特定非営利活動法人 (NPO 法人)
- ウ 中小企業団体等
- エ 商店街、商店街の連合会、商工会、商工会の連合会、商工会議所

## 募集内容

**期 間** 過去3年以内に実施又は大会終了までに実施する予定の取組

※実施予定の取組については、終了後に実施した取組内容、期間、得られた効果やメリット等をまとめた実績報告書を提出

**取 組** 大会に資する物流効率化の取組

- ・ 他店舗との一括発注
- ・ 他品目との一括発注
- ・ 在庫調整による輸送頻度の削減
- ・ 混雑時間を避けた納品時間への変更
- ・ 納品業者や事業者と調整
- ・ 十分なリードタイムでの発注、それに伴う柔軟な配送時間やルートの設定
- ・ AIやビッグデータ等を活用した、配送ルート・時間の最適化 など

# 応募一覧

5月25日（木）～6月21日（月）の期間に応募し、13団体14件の応募があった。

	企業・団体名	業種	取組概要
1	株式会社アップクオリティ	運送業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 旅客用高速バスを活用した貨客混載による地域特産物の輸送</li><li>・ 独自の保冷ボックスや専用IoT端末により、3温度帯と輸送中の品質管理を実現</li></ul>
2	株式会社オカダヤ	小売業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物流拠点整備及び店舗への一括自社配送</li><li>・ 前倒し納品や輸送ルート複数化を検討</li></ul>
3	共栄社化学株式会社	製造業・メーカー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メーカー主導による近隣企業との共同配送（化学品等）</li><li>・ 上記に伴う配送台数の削減、積載率の向上</li></ul>
4	株式会社ゲイト	飲食業、漁業、水産加工業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物流拠点の整備及び店舗への他品目をまとめた一括自社配送</li></ul>
5	株式会社ケミロジ	運送業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 試薬及び理化学機器に係る共同配送</li></ul>
6	新宿EAST魅力あふれる街創り有志懇談会	—	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域ルールによるエリア内自動車交通量の低減</li><li>・ 大規模開発に合わせたエリア別共同荷捌き場の整備の検討等</li></ul>
7	東京コンピュータシステム株式会社	情報通信業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ペーパーレス、電子化に伴う郵便物、郵送頻度の削減</li><li>・ コピー用紙、文房具、コーヒー等の消耗品の事前発注等</li></ul>
8	株式会社ミノダ	サービス業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 注文システムのオンライン化</li><li>・ 顧客と加工工場を直接つなげる物流システムの転換による配送台数の削減</li></ul>
9	ヤマト運輸株式会社・株式会社ライナフ・東急在宅リース株式会社	運輸業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オートロック付きマンションへの置き配による非接触の推進及び再配達削減</li></ul>
10	吉江社会保険労務士事務所	法律業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 業務のペーパーレス、電子化に伴う物量の削減</li><li>・ 上記に伴う、宅配便の削減及び混雑時間帯を避けた時間指定、再配達削減</li></ul>
11	株式会社ワールドサプライ①	運送業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電子受領端末の導入による非接触の推進、受領証等の削減に伴う紙の納品回数の削減、館内配送に係る荷下ろし時間の短縮</li></ul>
12	株式会社ワールドサプライ②		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 午前・午後複数回行っていた集荷配送を、午前一回の配送と午後一回の集荷に集約</li></ul>
13	株式会社NTSロジ	運送業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 共同配送による積載率改善</li><li>・ 静脈物流の活用した食品廃棄物の回収、肥料化、配送等の循環型物流</li></ul>
14	株式会社オー・エス・エス	運送業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 訪日外国人向け手荷物国際配送サービスの実施</li></ul>

# 評価項目

認定及び表彰にあたり、以下の4項目を評価基準とした。

## ①運用性

- ・取組の定着が期待できる。  
（混雑を避けた時間帯の配送や混雑ルートの迂回など、大会に向けて実施した取組が、災害時のBCPとして応用が期待できる等）
- ・他部署や他社等との協力体制が構築されている。
- ・従業員の意見が反映されている。
- ・経営層が積極的に推進するなど、実施しやすい雰囲気づくりがなされている。
- ・アクションプランを作成し、それに基づき計画的に取組を実施している。 など

## ②実効性

- ・重点取組地区内や商店街内等の移動の削減に寄与している。  
（配送車両の削減台数・割合・頻度、〇〇件の配送ルートや時間帯の見直し、ゴミの削減量など）
- ・業務効率化やライフ・ワーク・バランス向上に寄与している。  
（物流コストの削減、従業員の満足度向上） など

## ③先進性

- ・取組実施に当たって、独自の工夫やチャレンジがなされている。
- ・その企業の取組例をもとに、他社への展開が期待できる。
- ・デジタル化の推進に資する取組となっている。  
（在庫管理システム、AI等を活用した最適ルートの分析システムの導入） など

## ④その他

- ・新型コロナウイルス感染症対策としても有効である。  
（例えば、一括配送や置き配等に伴い、接触機会が削減されるため、新型コロナウイルス感染症対策としても有効など）
- ・環境負荷低減にも配慮している。  
（例えば、配送車両における走行距離の削減に伴い、CO2排出量が軽減されるなど）
- ・地域活性化に資する取組となっている。 など